

寫眞週報

情報局編輯
一月三十日 第二五四四號

昭和二十一年一月三十日 星期一 第一頁 每份十錢 全年一百二十錢 零售每份十錢 廣告費另議 印刷所 東京印刷局



一點の衣、一碗の粥
總てが國力である時

暖衣飽食は

自らの國を引裂いて着

自らの國を引ちぎつて喰ひ

遂に船底までも剥ぎ取つて

諸共、海底に没入するの愚だ

汪精衛國民政府主席來訪す



中華民國國民政府主席兼行政院院長汪精衛氏は、外交部部長褚民誼氏、財政部部長周佛海氏、軍事參議院長蕭叔宜陸軍上將、實業部部長梅思平氏、宣傳部部長林柏生氏ら國民政府首脳部を随へ舊臘二十日飛行機で來訪、二十二日には總外交部部長以下隨員八名を随へて宮中に參入した。畏くも天皇陛下には中華民國元首としての汪精衛氏に御會見、一昨年六月以來御一年半ぶりに種々御談話あらせられ、汪主席以下は今回の御殊遇並びに日華提携の上に寄せさせ給ふ大御心に感激して宮中を退出した。

汪精衛氏は翌二十三日から行政院院長として今回來訪の目的に従ひ、一行とともに東條總理外政府要路と數次にわたつて會見、大東亞戰爭一周年にあつて有史以來未曾有のわが戰果に祝意を表するとともに、大東亞戰爭第二年を迎へて新秩序建設に同甘共苦の從來の態度より一歩を推し進め、わが國と同生共死の決意を有つ中華民國がこの戰爭完遂に、如何にしてその總力を發揮し、意志力量を發揮して協力すべきかとの日華提携についての緊要な諸問題につき十分の懇談をとけて後歸國した。

◁ 宿舎大東亞迎賓館から感條を正して宮中に參入せんとする汪精衛氏



新しき航空軍中央中るけ頼を成創てし才目を軍空會しら新
 隊部要務のりけ受を兵國の員員委任く高も武少の駐東備保

海軍航空隊の訓練

新中國の國軍に指導援助に段と強化



平和建國の大途を推し進める新中國軍の精神

國軍を強くすべしと云ふことは保衛東亞、中國復興の第一條件であり、大東亞戰爭の完遂に協力する道である。國民政府は眞剣な指導援助の下に國軍の整備強化に非常な努力を注ぎ、著々成果を収めてゐる。新中國國軍の組織は軍事委員會を設けて汪主席自ら委員長となり、一元的に軍事百般を統べてゐるが、現在國府直轄軍隊はわが陸軍と渾然一體となり、先づ統治地域の治安確保に當ると同時に重慶および共産黨に備へ、その兵力四十餘万を數へ、裝備も數回にわたるわが莫大な現物兵器供給等の援助によつて著るしく近代化されるに至つた。

一方精兵主義實現のため、將校の補充については當局は大いに意を用ひ、軍官學校、軍士學校、航空學校などで幹部の養成を行ふ傍ら、軍事委員會に訓練部を設けて軍の素質向上に全力を注ぎ、また將校の急速大量の訓練を目的として中央陸軍將校訓練團を組織し、各軍の將校數百名を收容、その第一期生はすでに良好の成績で卒業してゐる。なほこのほかにも政府では新中國の將來を託すべき少壯將校を養成するため、すでに數十名を選抜してわが陸軍大學校に留學させ、皇軍魂を體得させるとともに、日華兩軍一丸團結の基礎を確立しつゝあり、やがてこれらの成果が實を結ぶときこそ、日華兩國の提携がその眞面目を發揮するときでなければならぬ。



わが援助によつて著るしく整備強化した國軍の部隊



山積された燃料が積み出されてゆく。今が重要になり、軍需となるために

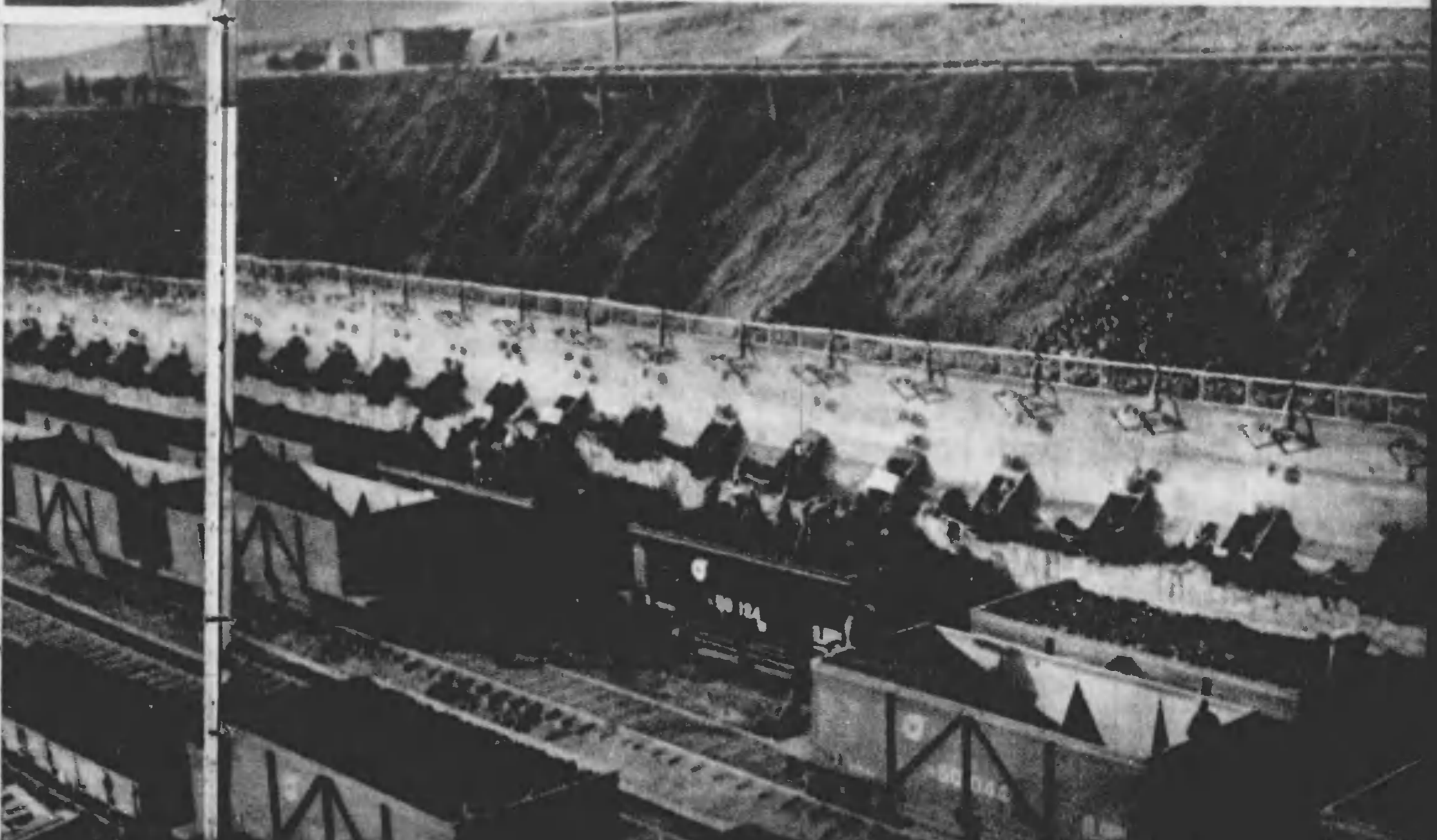
▲ 山積された燃料が積み出されてゆく。今が重要になり、軍需となるために



▲ 強増力戦がわ
源資の國中新
員動總

▲ 強増力戦がわ
源資の國中新
員動總

▲ 強増力戦がわ
源資の國中新
員動總



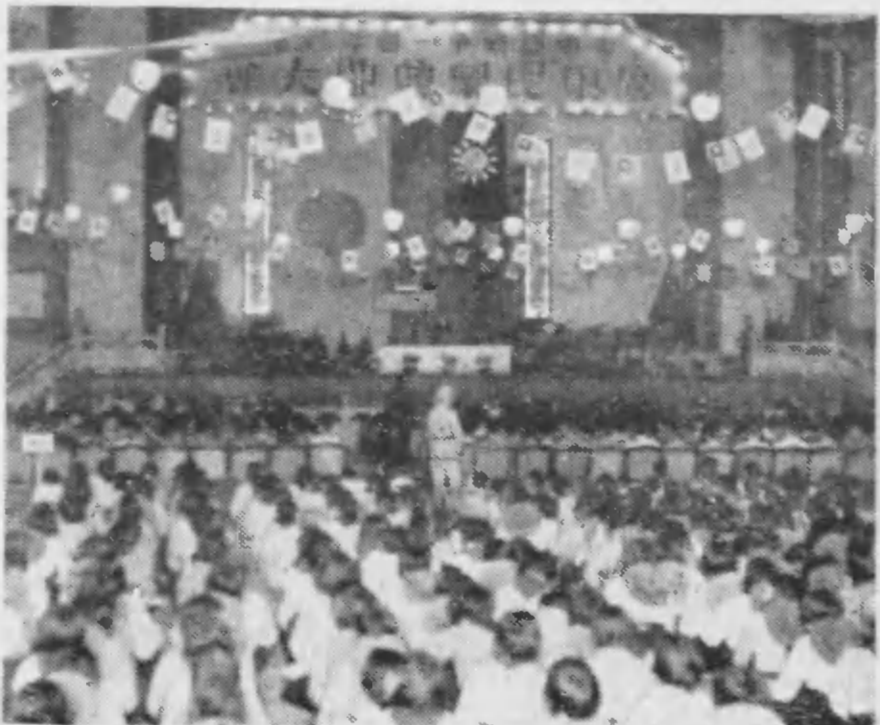
び叫雄の念記年周一るがあに地各亞東大



京北 たつ誓を意決な新は餘り三民留居般一ていおに所兵練軍東



ンロヨシ印佛 色一祝慶もに街のけた僑華げ揚を丸の日に毎戸



東廣 たつ誓を進促揚提華日にらさてし合に堂一も生學や表代民市



京新 たし歌謡を果戦いしか輝の本日邦盟は民の族五に京新都國 海上 たし祝慶を捷戦の本日に色一朗明は今も海上たれはいと都寛



↑ラユマ 民市るす進行を國公クネルてつ旗ちうを旗の丸の日に手に手



↑タルカヤジ ちたロイヨのび喜大に進行中市の(車馬)ーヤチベ花



↑南晴 たし和唱を放萬し舞金に等置忠てし祝を念記年周一は表代人地現



アジマフヘイ
 アジアの夜明けを仰いで一年、
 一入の威厳と喜びにどる占領下
 各地をはじめ盟約の誓ひも固い南
 半の各地には、今日こそ冷たく光輝
 する熱意に、アジアは一つの歌び
 を共にする誇りも高く、大東亞の
 旗々揃々をどよもして、真夏の熱
 呼は沸きかへつた、暹米英の耳を
 聳せよと

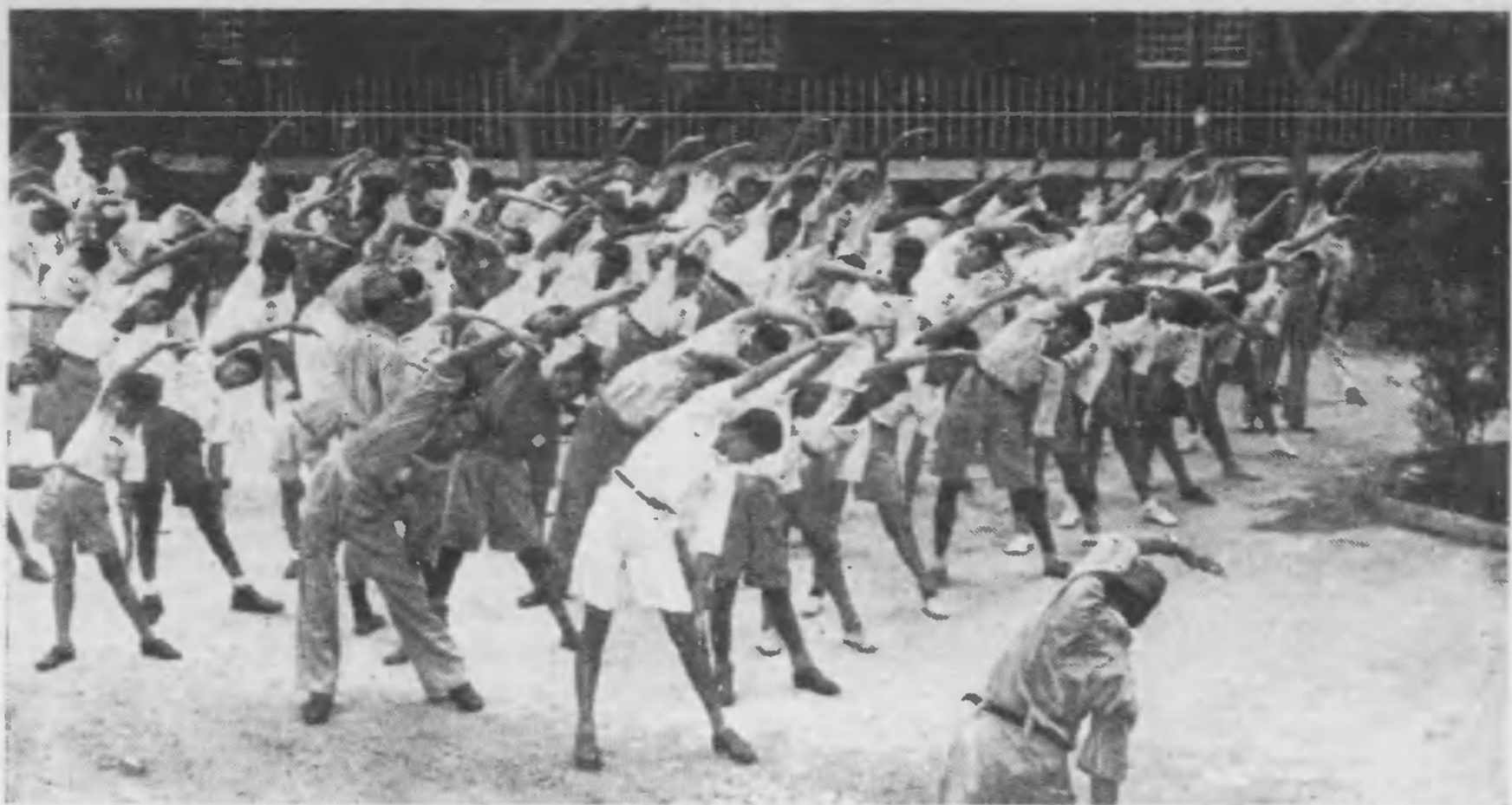
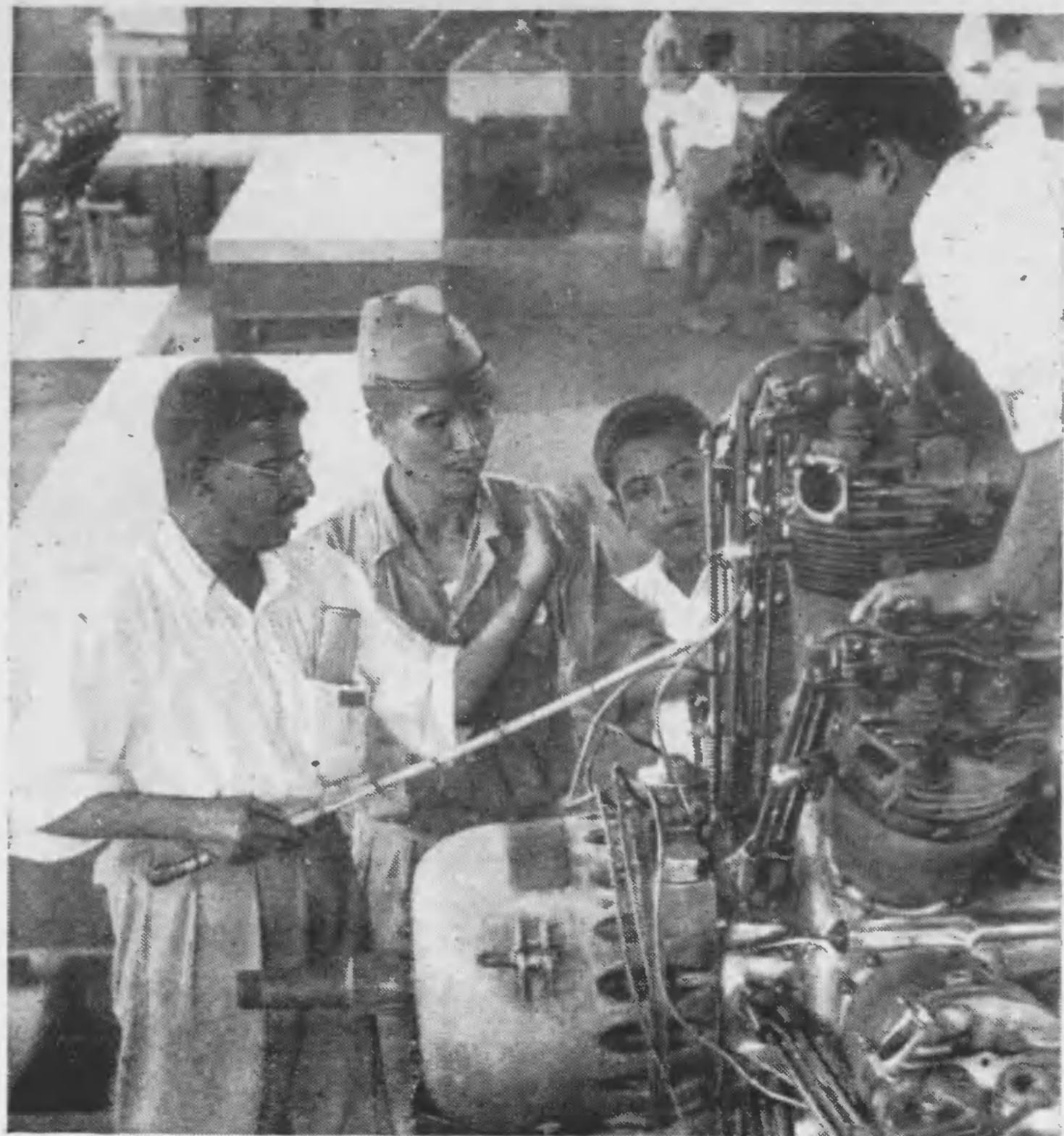
↑ラユマ ぶ浮に空の南にから誇はひ誓の盟東大 だ日のび歌



↑ソグンラ 進行中市なかや職の徒生人マルビ校準師本日

現地人から技術者を

昭南の現地工人養成所
 撮影 陸軍報道班
 作業教育を志す者



地人工人養成所



マライ建設の躍進ぶりにこたへて、技術者の大量生産をめざす『現地工人養成所』がこのほど昭南に誕生した。まさに興亜訓練所を設置して、現地官吏の養成に大きな成果をあげてゐるマライ軍政監部の指導によつて開設されたもので、いまこゝには三百人の現地人生徒が、マライ再建に自らの力と技術とを動員することのできる喜びを胸に、相携へて訓練を重ねてゐる。

君も僕も大東亜の若い技術者、マライ人、インド人、ボルネオ人がみんな仲よく腕を組んで

ラジオ体操も日課の一つとして規則正しく元気よく、左翼上日本の無業無資の活躍を促しながら熱心に航空機の説明を



暑いこの日の衣、おやな、長、おやな、意、は、今、は、土、は、人、を、さ、ら、つ、た、



「ノコリス、ノコリス」ついに東の投げがきまると
ワットと戦

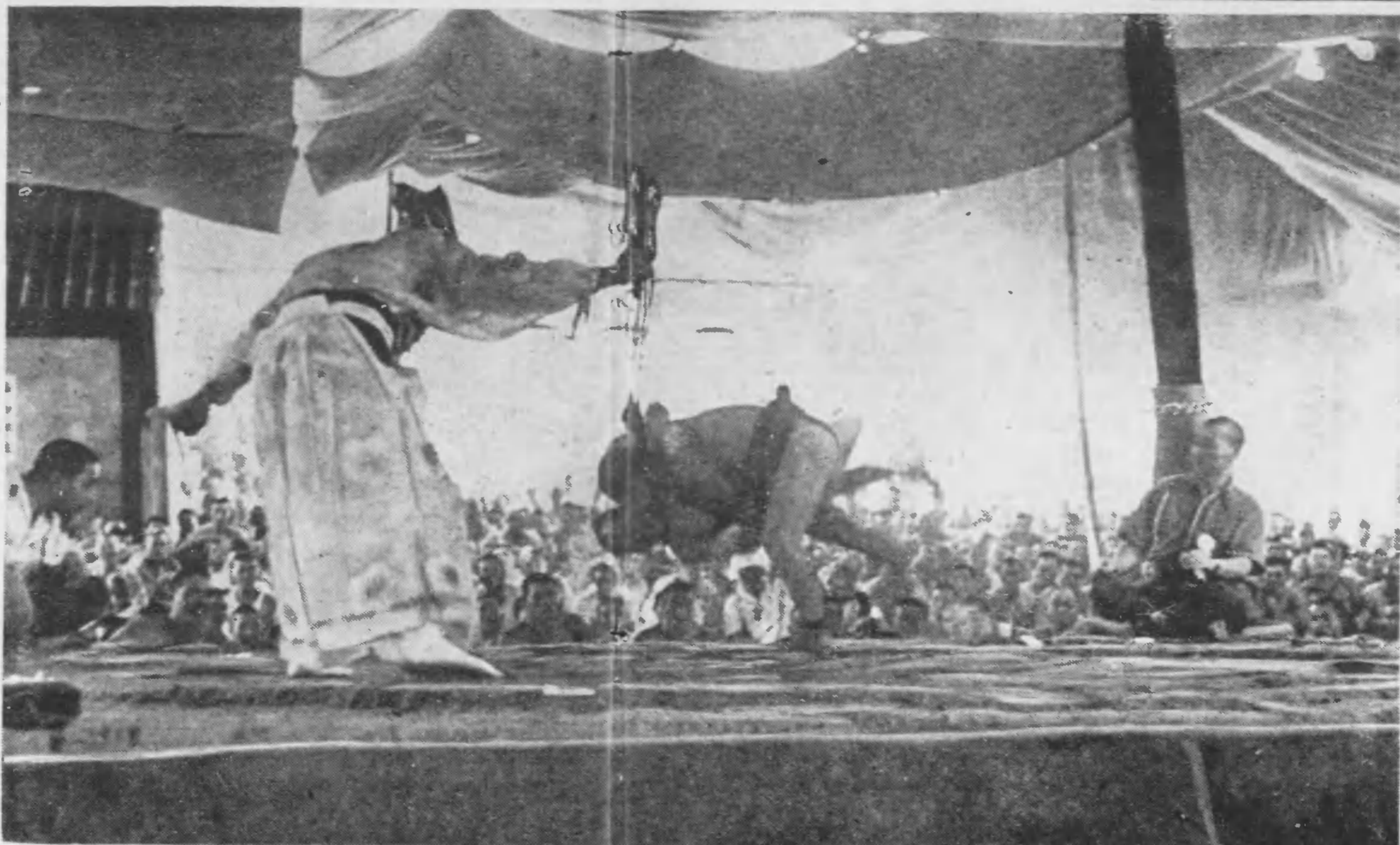
文 松崎陸軍道班長
影 深澤陸軍道班長

ンゴイサ

南の春の場所

くよ氣景鼓太楯
洋度印に洋平太

揚々會大撲相地屯駐



トコトク、デー、デー、デー、と、椰子の樹立の向ふから、楯太鼓の音が高々と聞えて来る。陣中春場所のはじまりだ。こゝはサイゴン、春場所といつても恐ろしく暑い。隊伍を作つて勇ましく乗り込んで来た各部隊の将兵も、場内係の兵隊さんも、みな汗びっしょりだ。やあ、陣中にはあつた、羽織袴に

高足駄、付け鬚姿も物々しい。援隊長が現はれると、鳥帽子直衣に威儀を正した行司役、いきな姿の呼び出し役も出場だ。各部隊より抜きの隊長が四本柱にデンと坐る土俵の作り、何千人来ようとたくともしない見物席の拵へも、本物の岡技師揃まけた。係りの将校は、「何んの楽しみもない兵隊達です。部隊対抗の相撲大会だと言つたら、

と聲をあげ、われも〜と使徒に飛び出し、恐ろしく氣合をかけて作つたのです」と嬉しそうに笑ふ。部隊の名譽をかけて、東西に並んだ晴れの選士は、部隊優勝、飛ぶ付き五人抜き、栄冠は我が手に、我が部隊にと闘志満々だ。太平洋に印度洋、燃料川に興亜山、陣中春場所には、さしはし名前の晴れの選士

が、断じて負けぬの突撃精神で、上依一ばいに闘ふと、観客席はその度にワンノ〜と沸き立ち、鉄拳ならぬ大勢張りの南方國技師は、その聲で割れるばかり。白衣の勇士も、外國武官も拍手につく拍子で、對敵放送用のマイクを借りて来た俄か仕立ての進行隊が、AK張りでアナウンスにつとめても、それはいつも消され勝ち、物言ひがつくと、軍服姿の勇ましい隊長四本柱が上依に集まり、なか〜見事な検査役振りだつた



駐米陸軍のフランス将校も招待されて十位、陣中に接援をおくる



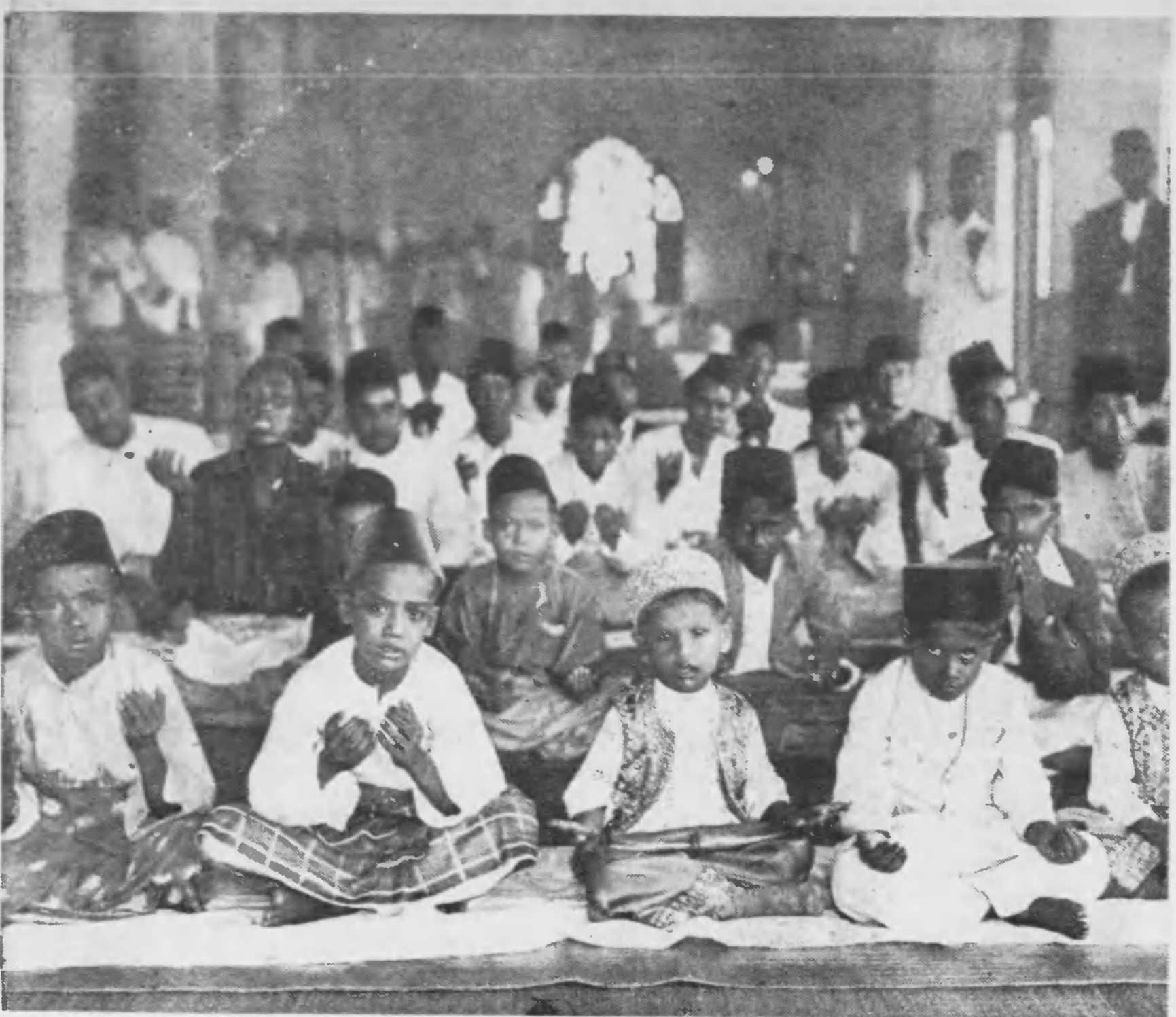
「どうだい、強さうな名前ばかりぢやないか、だが、なかにはへつがりもあるんだからな」と見物の兵隊さんには

回教徒の感謝祭

撮影 陸軍報道班
マライ、スマトラ



↑ 飛天のおモチやさんや駄菓子やさんは、やつぱりこの日の子供たちの人気者だ
↓ ふだんは縁かの小さな娘たちも姉さんにならつて、靴をはいて、胸飾りもつけて、着飾つた姿に胸をわくわくさせて



軍政下、初めて迎へたアサ明けの犠牲感謝祭は、わが現地當局の温かな理解の下に、このほろマライをはじめジャワ、スマトラ等の回教徒によつて、各地に和やかに行はれた
アサとは、回教徒が聖地メッカの巡禮苦行を偲んで断食をする行事のこと、この断食月がめでたく明けるとは、ちやうど回教徒にとつて、日本のお正月のやうに最も楽しいものになつてゐる
この日、盛装の善男善女は各地の祭典式場に参列、はるかなる祈禱を聖地メッカに捧げると共に、皇軍へのひたすらな協力を神に誓つたのであつた
↑ 両手を天に伸ばし、地に伏して神に謝し、来る年への誓をたてる信徒たち
↓ 禮拜堂への参道には貧者が列をつくつて施しをうけてゐる。施す人も今日は氣前よくお禮を出す

必要なら衣料を要するもの

組合交換品要不の組織

五十町谷神區芝市京東

吾文月報 影撮



交換会を明後日に控へて前田さんのお宅でも衣類整理に大
山川さんからは袴と洋傘、吉田さんからは子供服と丸帯が積
組長さんのお宅へ持込まれる。

かつて最新のスタイルとデザインで開いた某洋服學院が、下
駄の鼻緒の作り方を教へるといひます。かつて有閑婦人の庶
の市であつた百貨店の或る店では、古軍大威張りの賣場を設け
てゐるといひます。消費生活のいみじくも頼もしい轉換です。
贅澤はなせぬか。いふまでもありません。それは軍艦や飛行
機等を造らなくてはならない大切な職費を浪費するからです。
不足勝ちな物資を獨占して、職人國民生活を一層窮屈にするか
らです。物の不足はまだ一層深刻になるでせう。いまこそ
民族多しきに堪へるのときです。間に合ふものは工夫してでき
るだけ活かして使はなくてはなりません。困苦多きに堪へてゐ
るのはわれ／＼だけではないのです。たとへばイギリスにして
も、これから作る洋服は全部實用服に一定され、いままでもボタ
ンを四つつけてゐたところを一つにするとか、ズボンの折り
返しをなくし、ポケットの数を少なくするなどして衣服の節約を
はかつてゐます。



けふは朝晩に降つた雨の夜、袖に手をひかれて静めかけるお向ひさ
んお隣りさんで、朝から会場は大賑。

不要品交換會
神谷区第十五組



幸ひわが國では所帯衣類にしても
其の調査によれば一人三十枚といふ
アメリカなどよりも驚くべきに大
きな数字を示してゐます。生活費でも
最も抜くために、わたしたちは、これら
過剰衣類の活用をもつと圖化したけ
ればなりません。衣服の更生、國産の
不要品交換會、むろん結構です。要は
かゝした工夫と研究の上に、日本人ら
しい引續つた生活をもちたてること
です。そして切りつめた衣類の活用
はすつかりお隣にお譲りして、もつと
大切な家庭の方面にふりむけて使ませ
せう。



「お隣りさんもお隣りにびつたりです、エ、山口さんはお上手です、すつて、ま
おどつたりしてもお隣りほでまかせん。」



満洲の東京村から 花嫁五人が 嫁とり

新設東京村は拓土をどん／＼進めるとともに、開墾
員のため花嫁をお世話しようとして女子訓練所を設けた。開
墾所には拓士の良き妻たらんと欲々と入所者があつた。

花嫁としての訓練期間も終る頃、訓練所には
花嫁候補者のうれいしい便りが寄せられた。

永年の家業をなげ
うつて満洲へ移住し
た帝都の職業者中
(新設東京開拓員)
五名の合同結婚式が
新設東京開墾所
で挙行された。

先遣隊として昨年四月渡満した新設東京村は既に堅固な
地盤もでき、いま花嫁を迎へて入京した。

めでたく双方の縁がま
とまり、五名の結婚が
交された。



新設東京開拓員は
帝都の職業者によつ
て構成された満洲開
墾所で昨年四月
先遣隊五十名が入植
して以来五、八、十
の三期にわたつて後



船員七十名が入植
し、全職員は夏生の
意氣に燃え登々とし
て満洲開拓に従事
『東京村』の職を
築きつゝある。合同
結婚式を挙げた五名
の新婦は何れも先遣
隊として入植した拓
士で、職業者のため
輝かしい前途を拓い
たものである。



十二月二十一日、五名
の合同結婚式は東京商
工會議所会館山崎一
郎氏を執事人として東
京商工會議所で行はれ



失明勇士慰問に 女子学生が 点字勉強



「失明勇士、厚紙に一點々と盲勇士を刺める少女の良心が、感涙がしなやかな情先の筆先に打込まれてゆく」
「あなた出来た？」と、出来てよ」お友達がよつてたかかって驚し
「点字文が作れた」
盲学校の教室で新字の勉強。黒紙に新字の白い跡を伸ばして、もう
大分出来るやうになりました。



「わえ、あなたとんな慰問文書いたの」お友達と語りながら歸途へ



「おうい、自分等に慰問文が来たぞ」互に、新字をたつて、「願いでみろよ」喜びの聲に親友が響き、看護婦さんまで加はつて



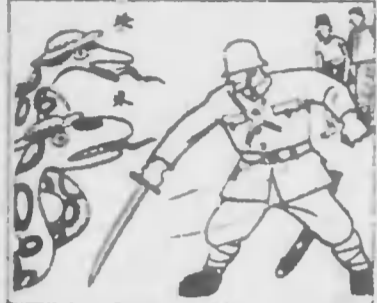
ヘイタイサン、オゲンキデス
厚紙にワッ／＼とお刺す少女達が点字を書いてあります。大東亞戦争で御國のために兩眼を奪われた勇士の方々にも読んで戴けるお便りを差し上げたい、といふ心から、日本女子大附屬女学校二年生のうち、それ／＼同じ心のお友達が十数人で、毎上曜日の放課後を東京市小石川區雜司ヶ谷の東京盲学校に打揃つて出かけ、先生の手引で新字のお勉強に一心になつておます
決戦に次ぐ決戦がソモンの海域では開かれてゐるといふのに、私達がこんなには書けて學校へ行けるのは全く誰のお陰でせう。さう思へば少女達が黒板に伸ばむ白い點字の跡の一つにも、また點字定規で厚紙に線を打込む只一つの點にさへ、無量の感謝がこめられてゐるのです
そして、この種この少女達が書いた點字の慰問文が臨時東京第一陣病院第二外科に、心眼を奪かに培ふ失明勇士のもとに届けられました。點字を追ふ勇士の指先は、この少女達のいぢらしくも温い心に觸れて、頬には知らず知らずのうちに微笑が浮び、露さへ光るのを隠せません。兵隊さんはこんなに喜んで下さるので、私達もこの少女達にまけず點字を覚えて慰問文を上げようではありませんか
撮影 吉川 健



大東亞戦争漫日誌
石川 介



東南アジアの南洋群島



つとまて反米の英米の軍兵



在支米軍基地に暴徒を急襲



米兵を力奮つて捕らへる



敵軍を力奮つて捕らへる



は、イタリヤ軍の一隊を捕らへる

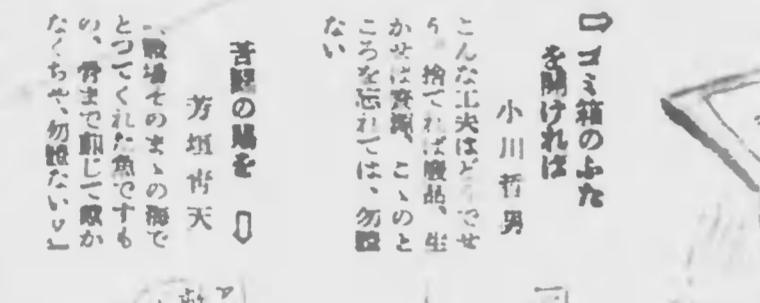


是、戦況の激変を示す

是、戦況の激変を示す



佐々木かしの稲刈り



小川哲男の稲刈り



芳垣青天の稲刈り



山原の稲刈り



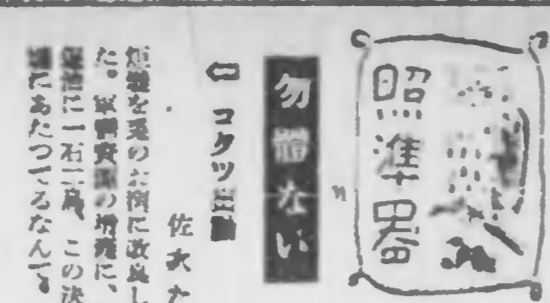
山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り



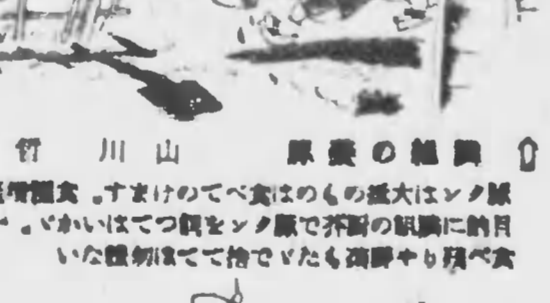
山原の稲刈り



山原の稲刈り



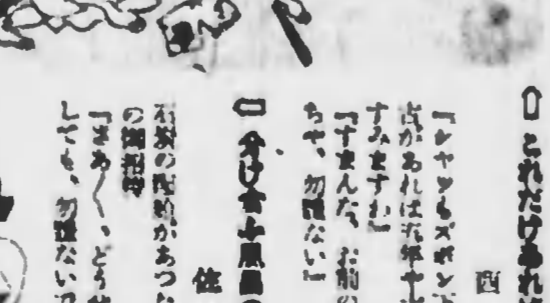
山原の稲刈り



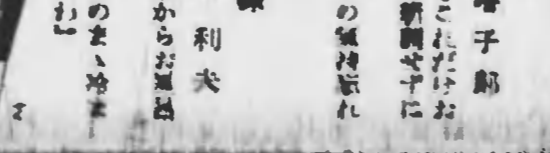
山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り

山原の稲刈り

山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り

山原の稲刈り

山原の稲刈り



情報局募集国民演劇脚本入選発表



千代を前線の敵間に



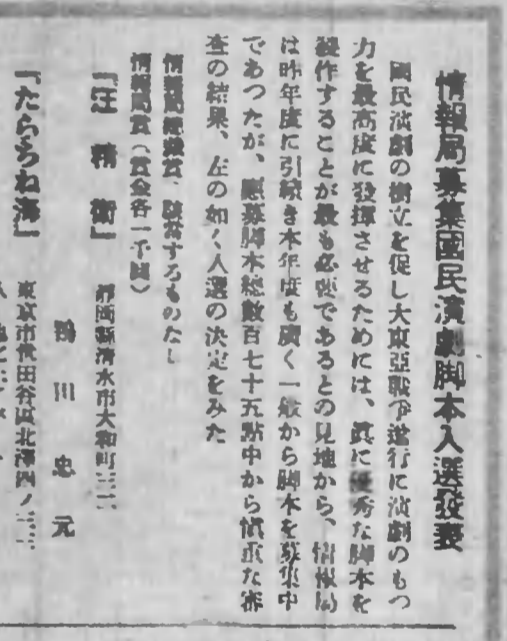
「時の立札」を広く御活用下さい

本誌からあなたは何を学んだか？

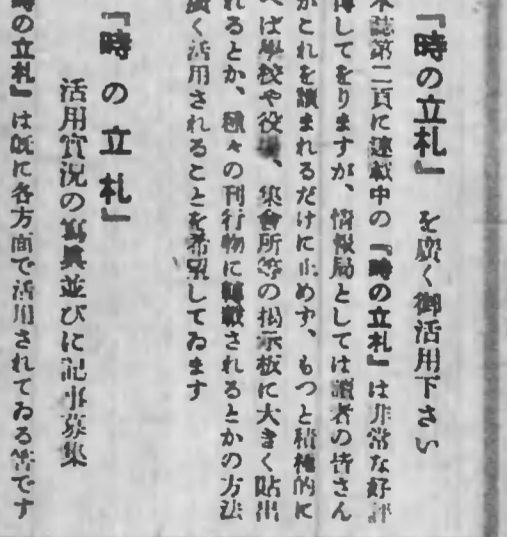
- 1 わたしは、軍部が官更になることができたか？
- 2 新中政府は、将軍の命令を海外に留めさせたか？
- 3 龍運山は、どこにあるか？
- 4 フラタは、何者か？
- 5 先般汪精衛主席の官更は、何者か？
- 6 新中政府の現行兵力は、何者か？
- 7 龍運山の山頂は、何者か？
- 8 日本人が所持している武器は、何者か？
- 9 新中政府の現行兵力は、何者か？
- 10 龍運山の山頂は、何者か？



千代を前線の敵間に



「時の立札」を広く御活用下さい



「時の立札」を広く御活用下さい

本誌からあなたは何を学んだか？

- 1 わたしは、軍部が官更になることができたか？
- 2 新中政府は、将軍の命令を海外に留めさせたか？
- 3 龍運山は、どこにあるか？
- 4 フラタは、何者か？
- 5 先般汪精衛主席の官更は、何者か？
- 6 新中政府の現行兵力は、何者か？
- 7 龍運山の山頂は、何者か？
- 8 日本人が所持している武器は、何者か？
- 9 新中政府の現行兵力は、何者か？
- 10 龍運山の山頂は、何者か？



山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り



山原の稲刈り

山原の稲刈り

山原の稲刈り

寫眞週報 昭和十八年一月十三日 印刷部發行 郵政省認可 郵務大臣許可 郵務大臣認可 郵務大臣許可 郵務大臣許可

第九回

特別報國債券

一枚一円

まめさいけん



賣出二百二十万枚

大藏省・逓信省・日本勸業銀行

寫眞週報

(禁轉載)

昭和十八年一月十三日 印刷部發行

情報局

東京市豊町一丁目

内閣印刷局

東京市豊町一丁目

一部十錢

(送料一錢)

外埠郵送は依り

共一圓十九錢

預約配達希望の方は一圓十錢

(送料一錢)の割合を以て前金を

送へ御申込み下さい

▲特大號の場合は其の都度御申込金より差額を申受けます

定

價

申

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

所

内閣印刷局印刷發行

〔列強報道〕A4形規定額はより大の書本